

アンケートから見える 女性医師の課題

前千葉県医師会女性医療研究会委員長
国立病院機構千葉医療センター産婦人科医長

大川玲子

日本医師会第1回男女共同参画
フォーラム

調査方法・回収率

調査期間：2003年10月～11月

調査対象：千葉県医師会女性会員570名
千葉県内5大学病院、2国立病院女性医師

方法：会員：郵送
非会員：女性医師への配付を院長に依頼
回収：すべて返信封筒にて郵送

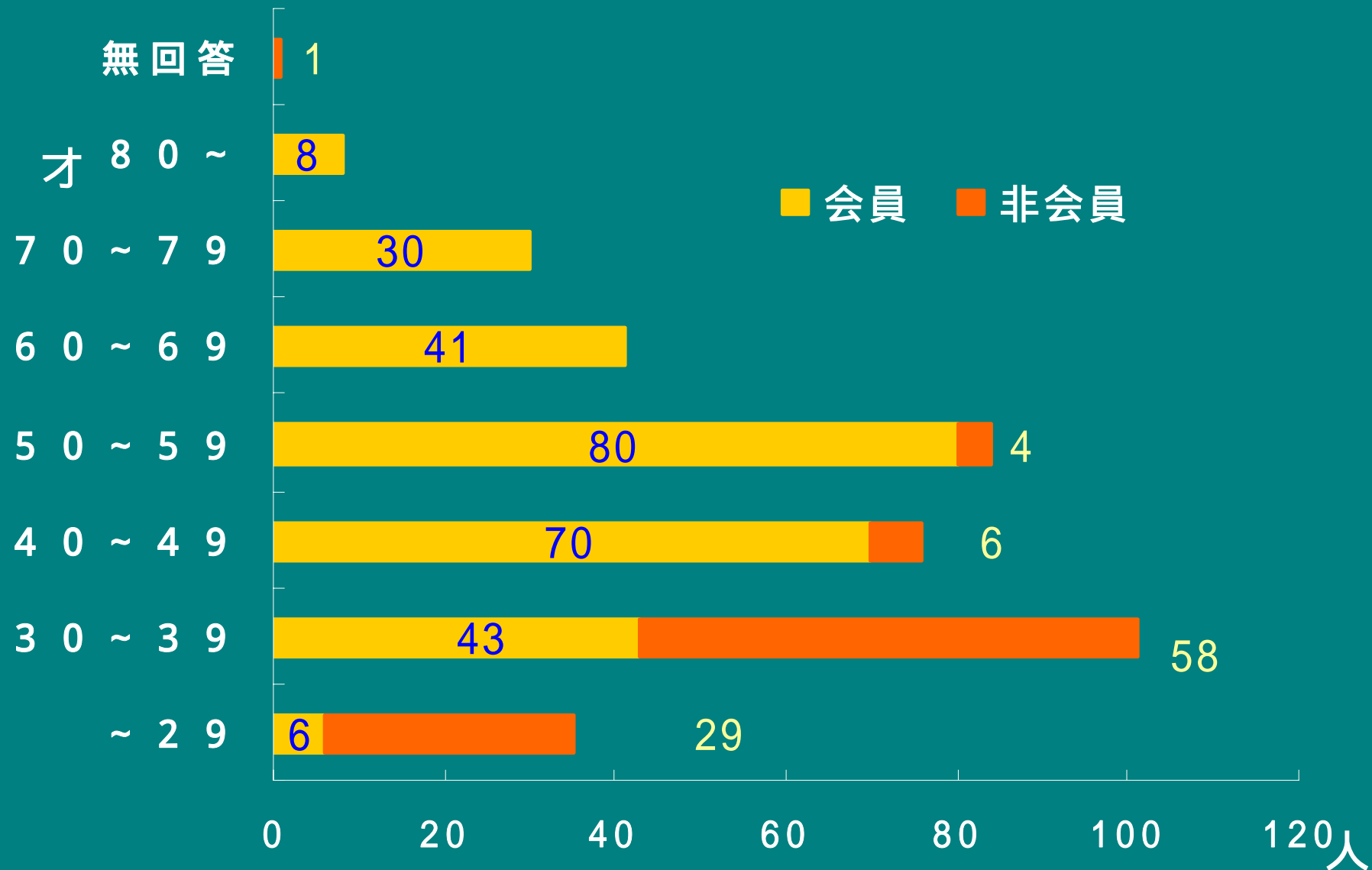
総回答数：376名（うち千葉県医師会会員278名）

回収率：会員については278/570（48%）
病院関係は不明

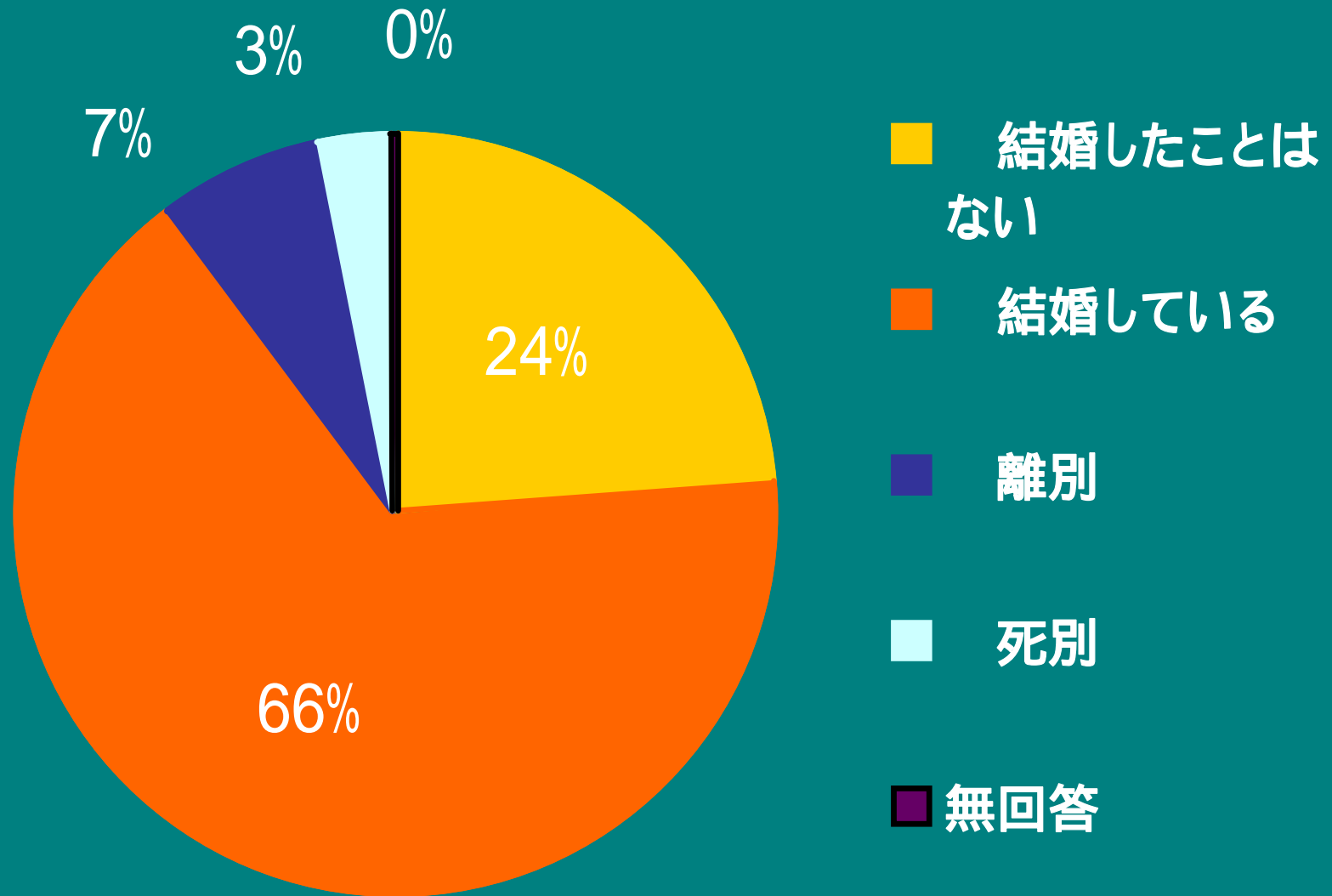
調査内容

1. 基礎的事項と就労状況
2. 妊娠・出産・育児
3. 介護
4. 女性医師の問題点・対策・展望

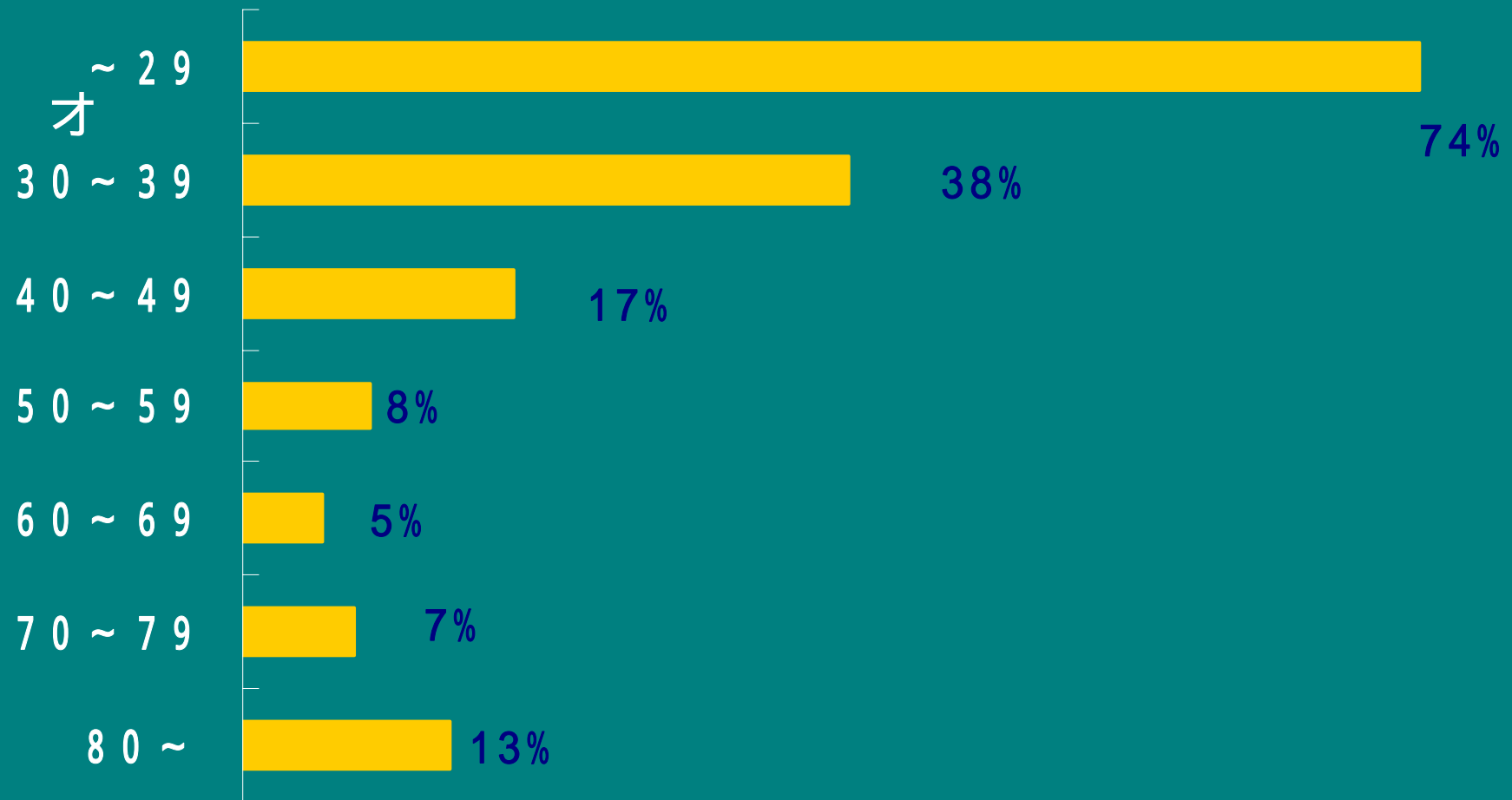
年令分布

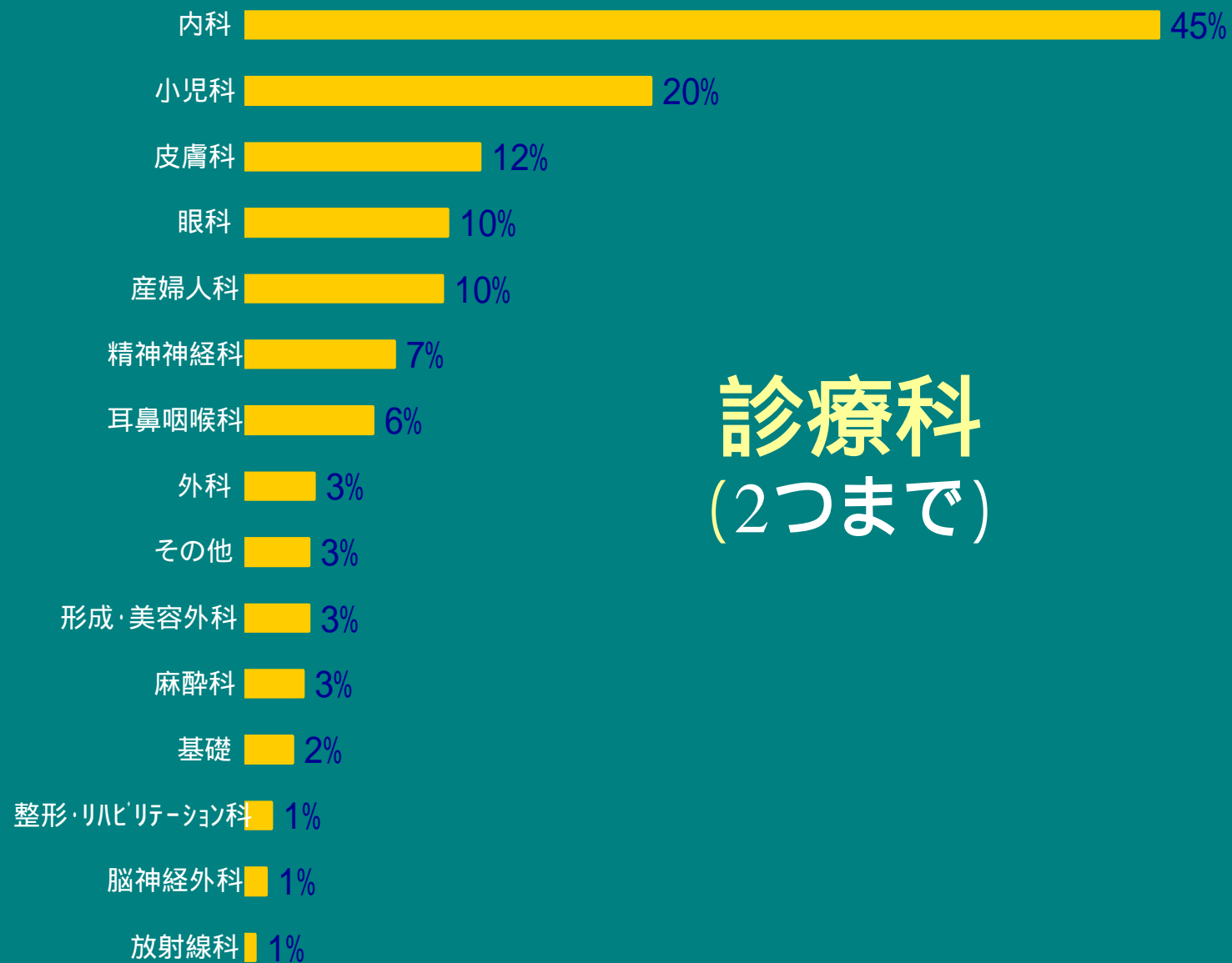


結婚



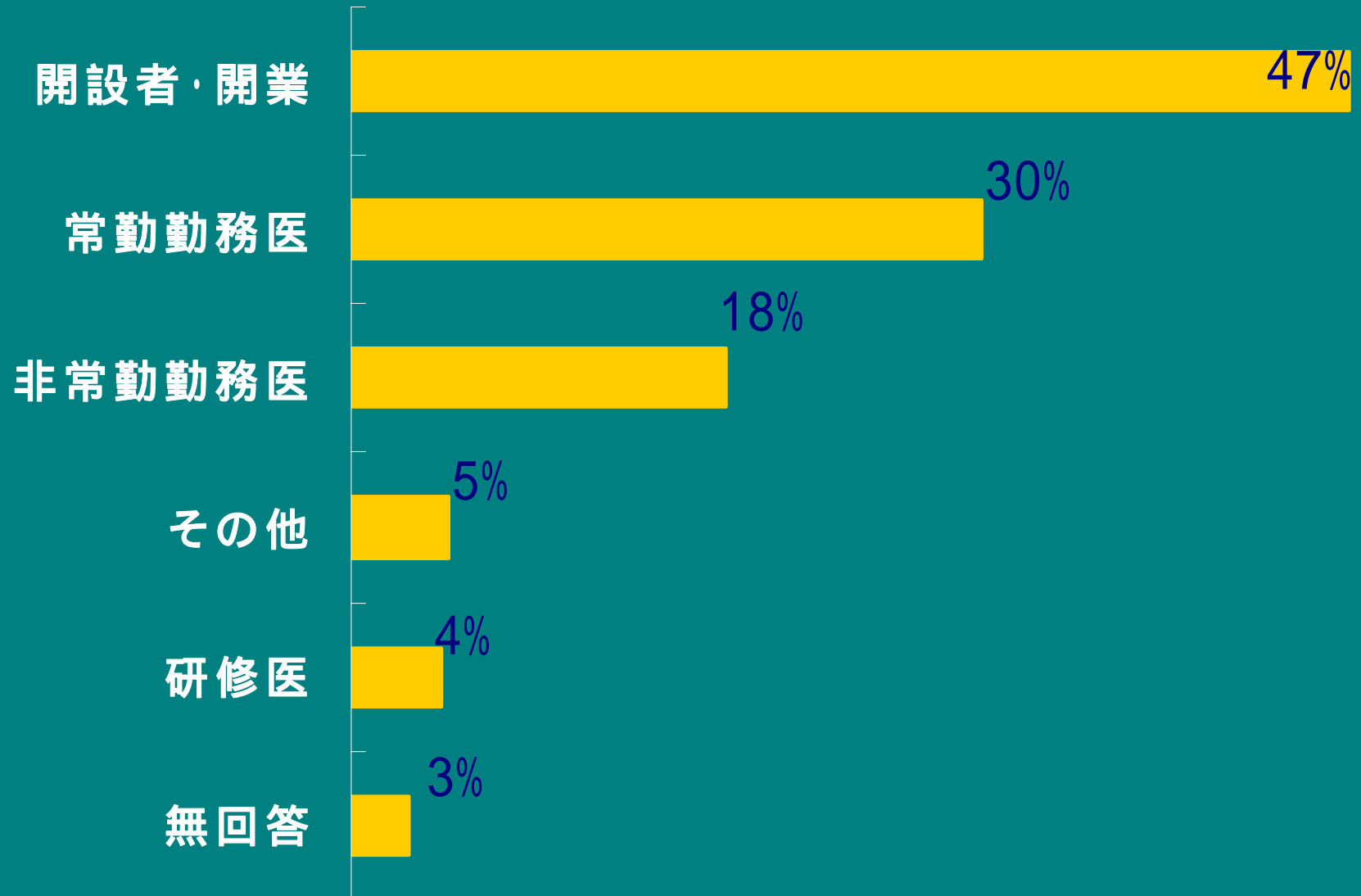
結婚したことのない人の年代別割合



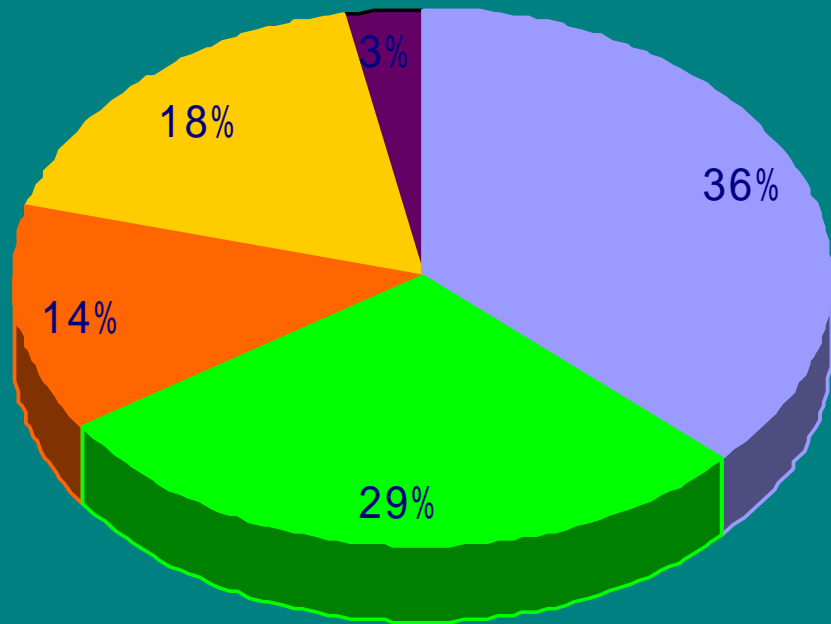


診療科 (2つまで)

就労形態

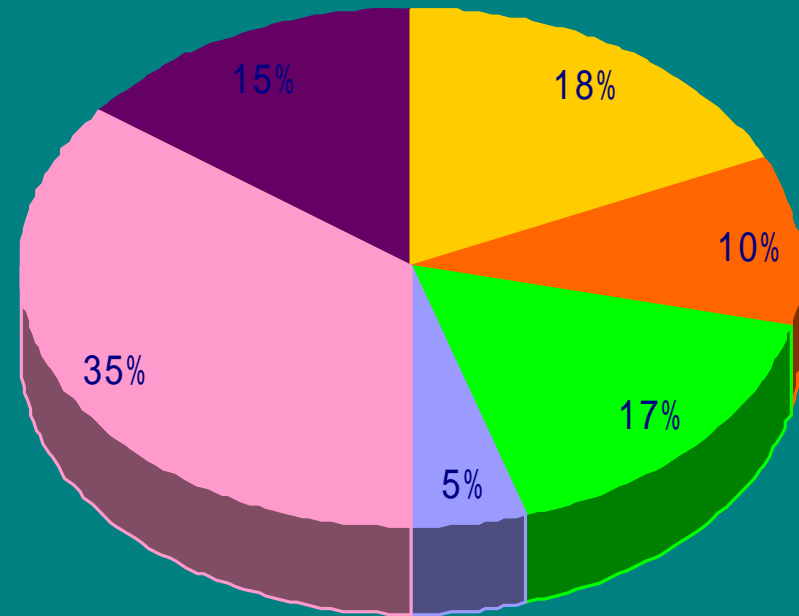


勤務医の就労状況



- 40時間未満
- 40～49時間
- 50～59時間
- 60時間以上
- 無回答

1週間の勤務時間

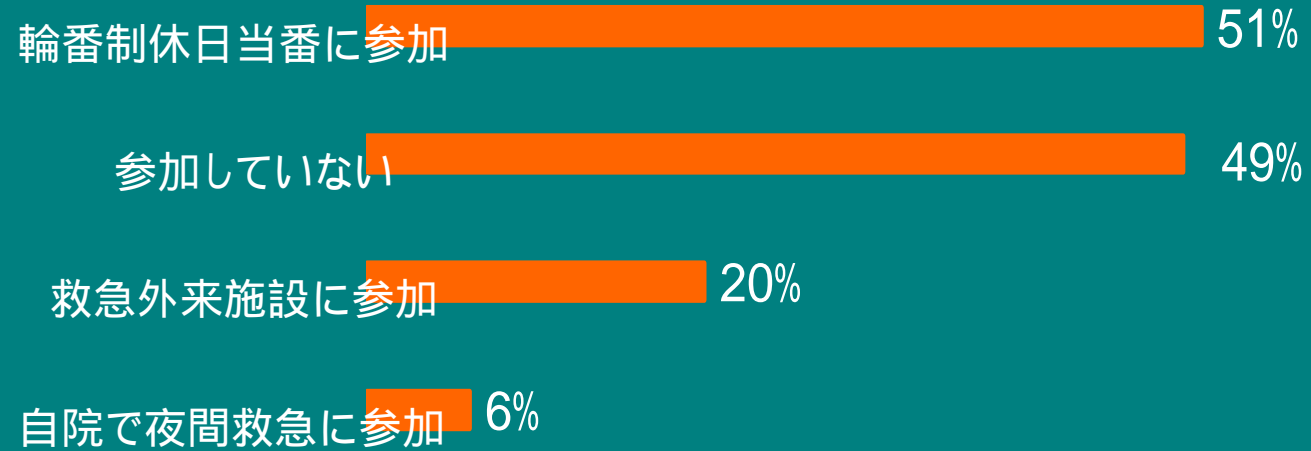


- 週2回以上
- 週1回
- 月1～3回
- 月1回未満
- なし
- 無回答

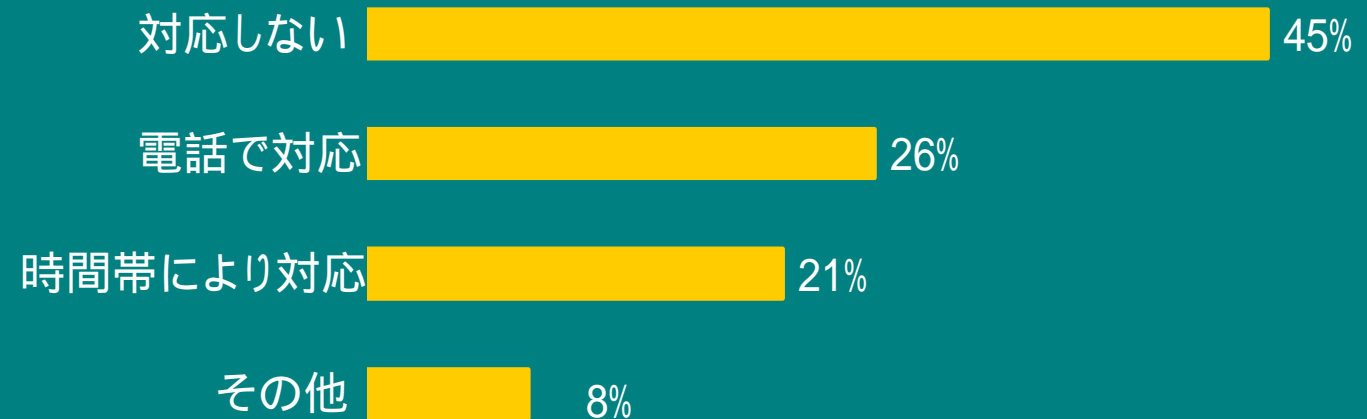
当直・待機の頻度

開業医の就労状況

休日当番

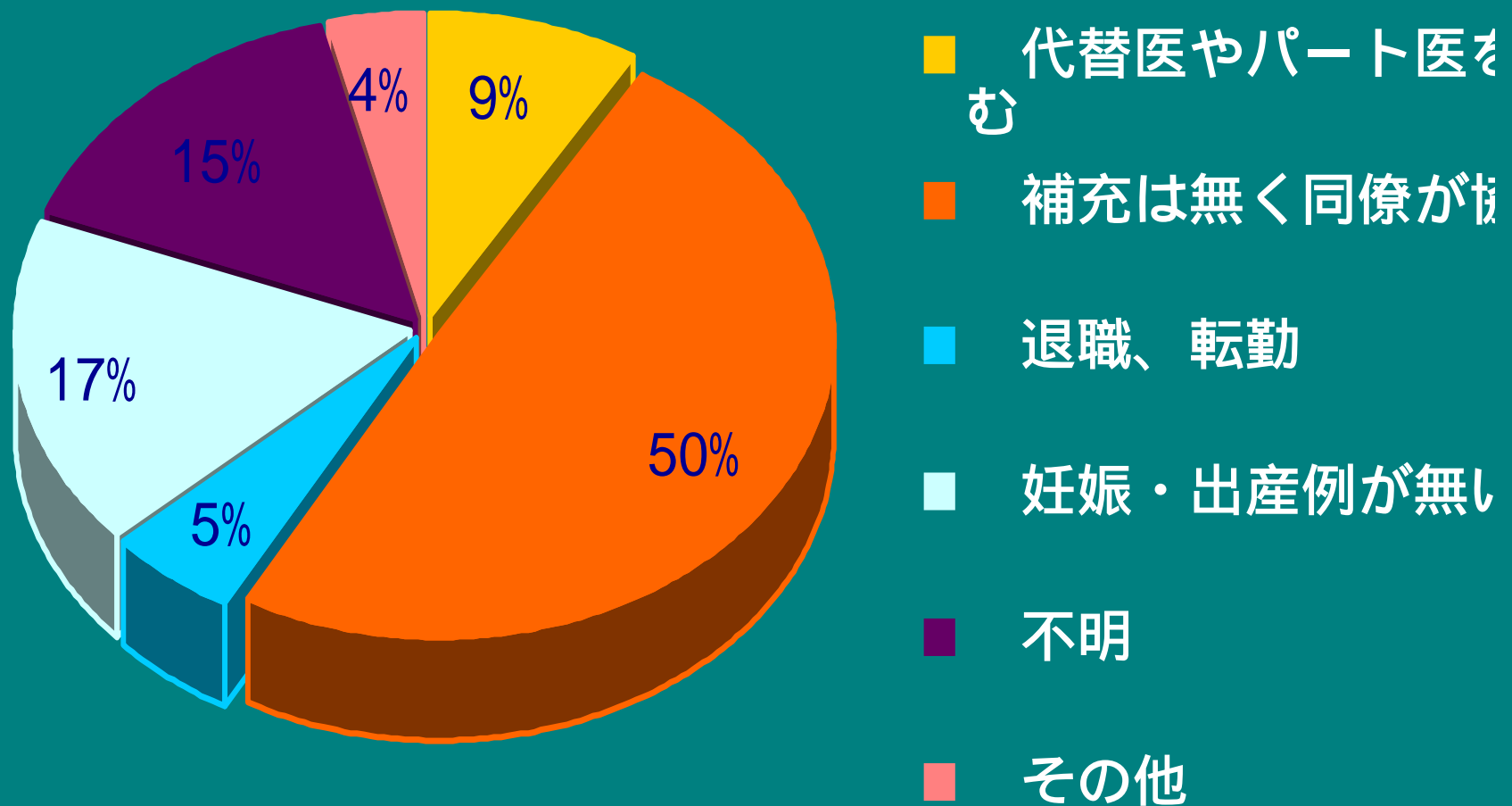


夜間休日



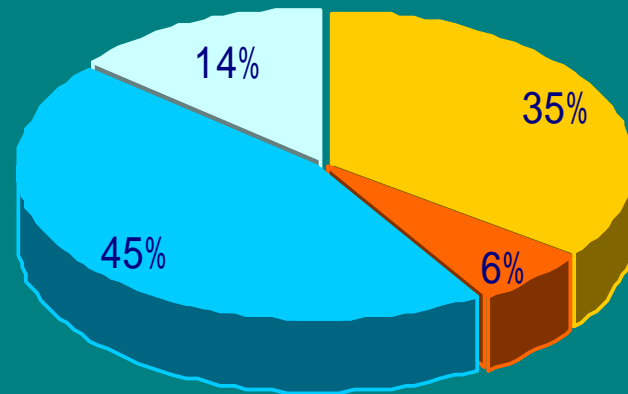
勤務医の出産・育児環境 1

現在の職場の産休対応



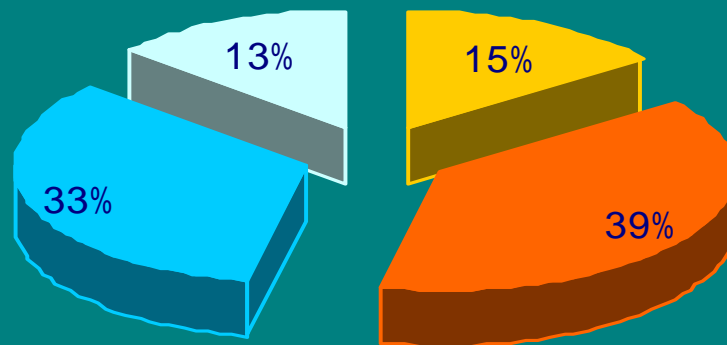
勤務医の出産・育児環境 2

病院
保育所



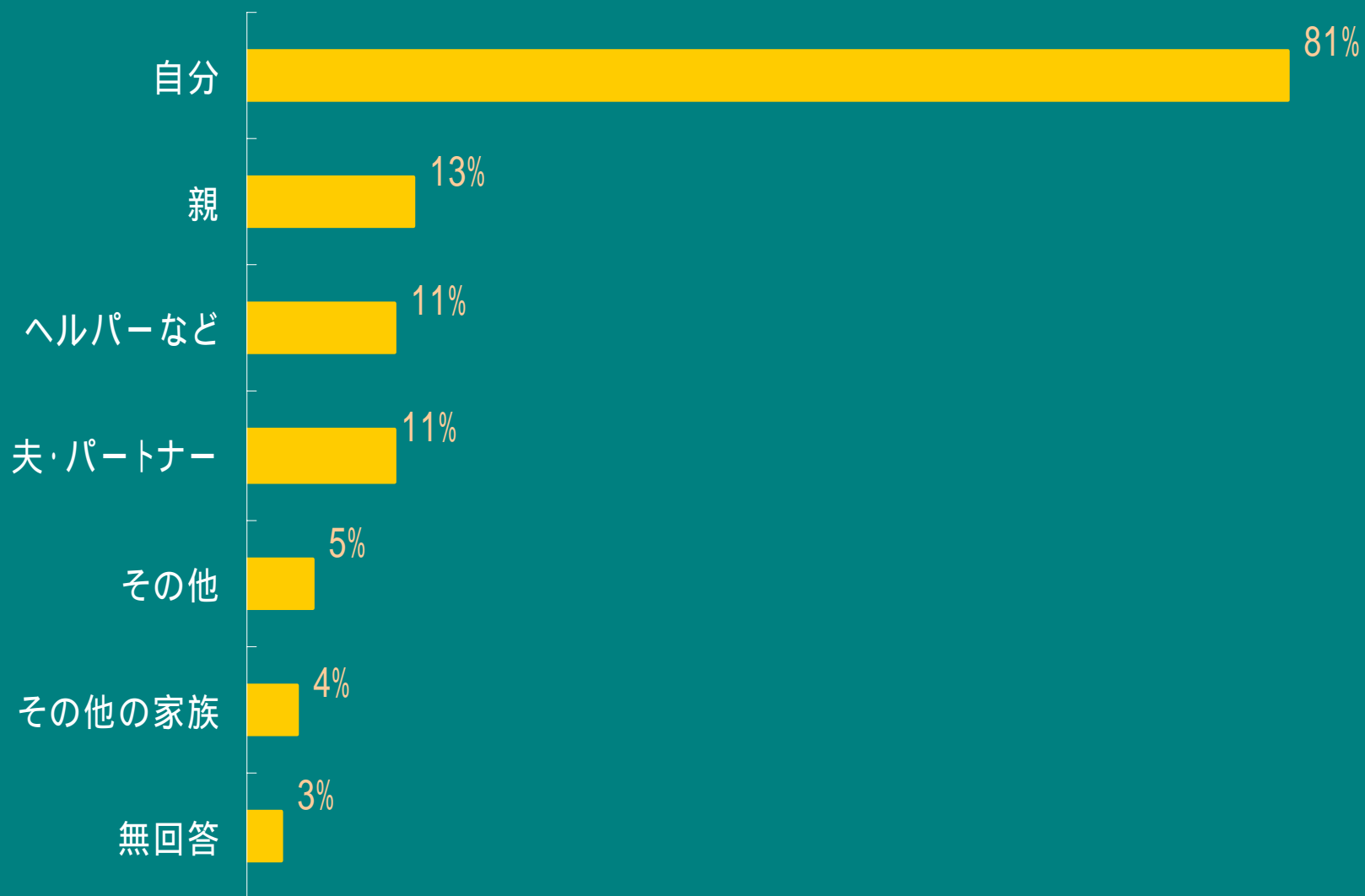
- ある
- あるが看護師優先で
- ない
- 不明

病児
保育

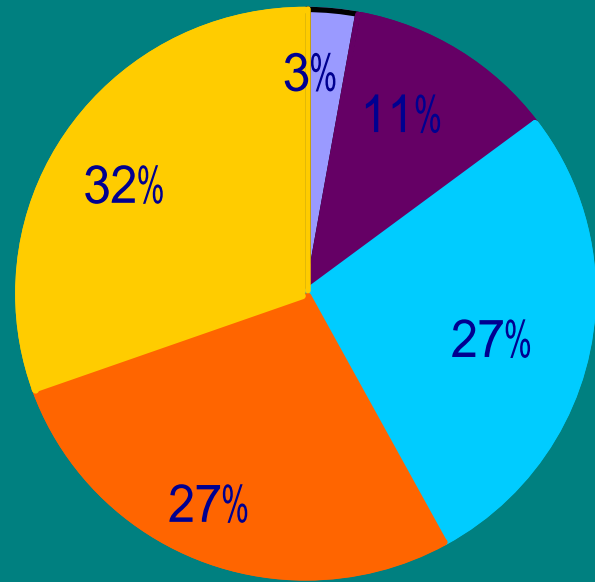


- はい
- 軽症なら可
- いいえ
- その他

主に家事担当している人は誰ですか

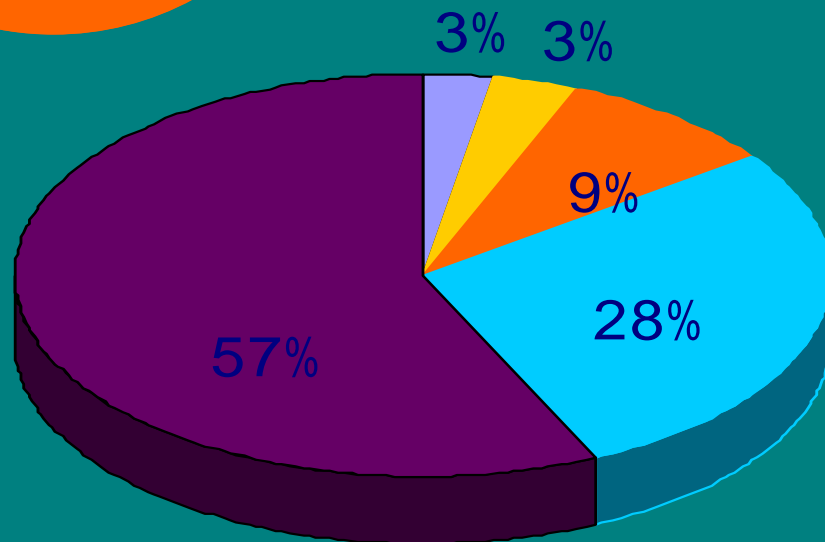


女性医師と夫の家事担当時間

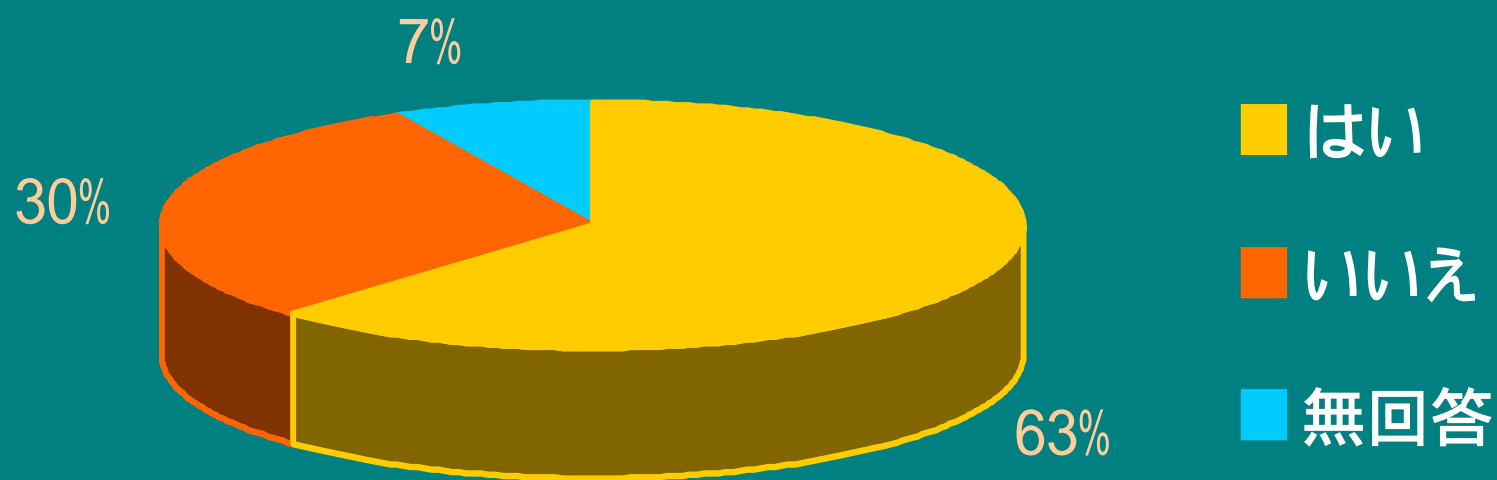


妻

夫

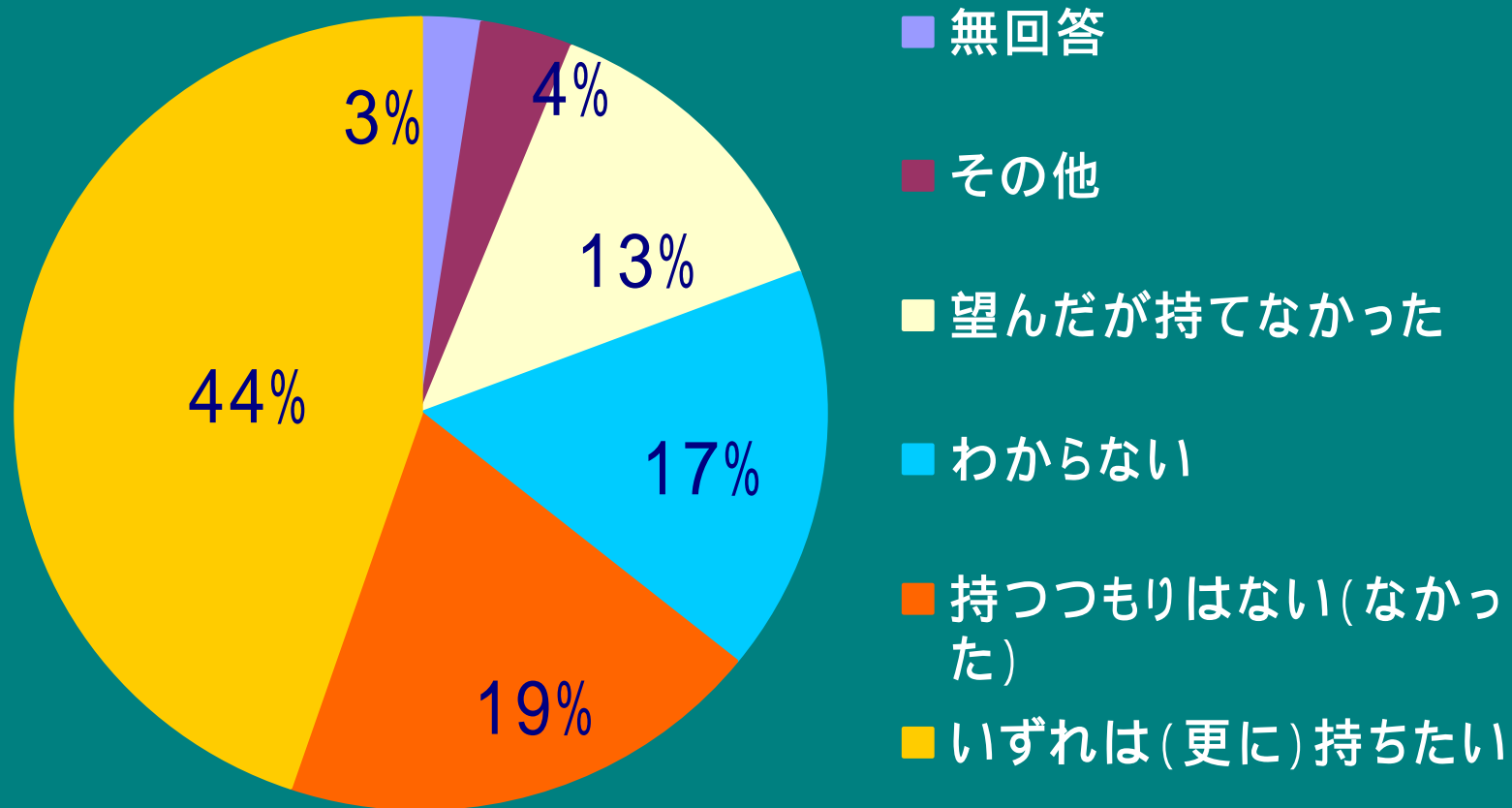


お子さんをお持ちですか



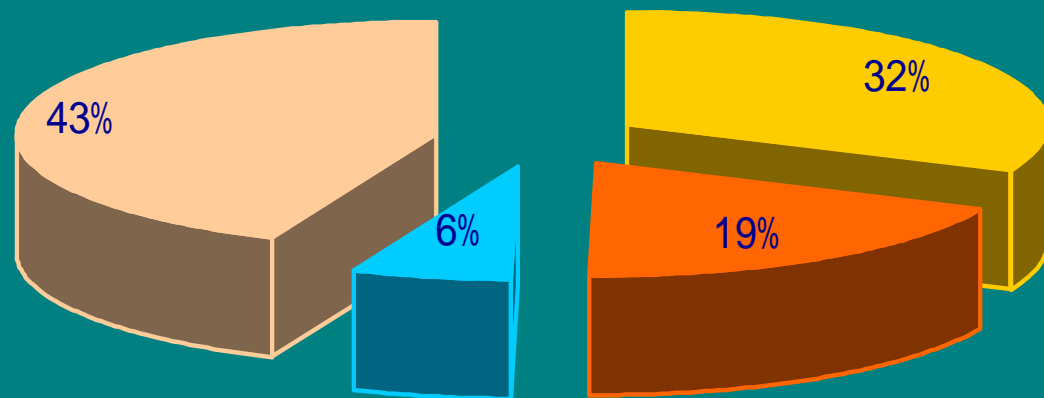
子供のある人の平均子供数 = 2.1人

子供のない人のうち 今後子供を持つ意思について



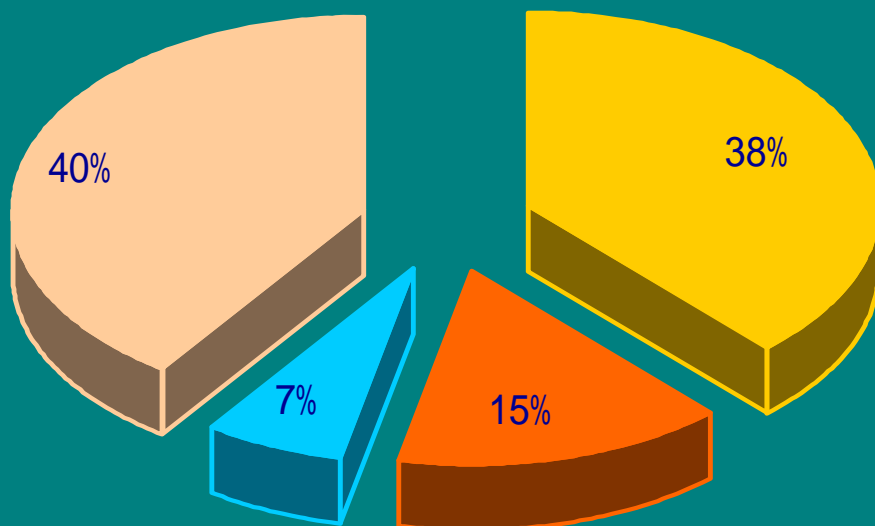
家族介護の状況

主たる介護者になっ
ている



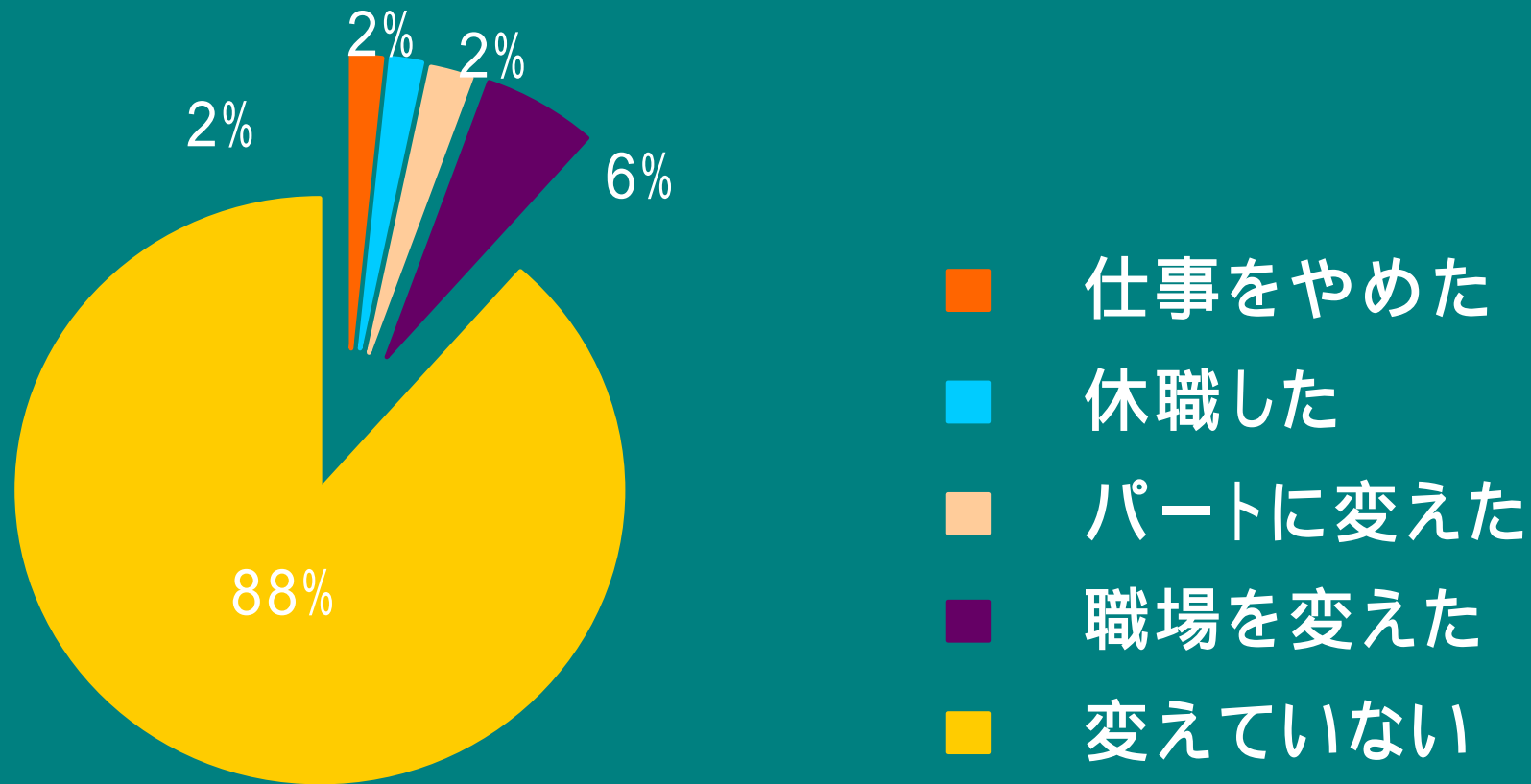
- 父母
- 義父母
- その他
- なし

補助的介護者になっ
ている



- 父母
- 義父母
- その他
- なし

介護のために仕事を変えたり、やめようとしたことがありますか



女性医師としての悩み

選択肢	回答数	%
女性差別	55	15%
セクハラ	24	6%
夫/パートナー非協力、無理解	51	14%
学会参加など勉強時間が不足	171	45%
余暇が不足	182	48%
特になし	78	21%
その他	44	12%

女性が生き生きと仕事を続けられるために 必要な、出産・育児支援対策

選択肢	回答数	%
保育園等の整備・拡充	286	76%
男性の家事・育児への参加	213	57%
出産・育児退職者の職場復帰	198	53%
職場の医師を増やす	108	29%
医師の勤務時間を減らす	138	37%
代替医師の掌握・確保	190	51%
現状で良い	3	1%
支援は不要	5	1%
その他	19	5%

女性が生き生きと仕事を続けられるために 必要な、出産・育児以外の支援対策

選択肢	回答数	%
ポジティブ・アクション	95	25%
性差別やセクハラのチェック機構	65	17%
夫婦別姓を実現する	68	18%
男女の多様な働き方をすすめる	238	63%
融資を促進し開業しやすくする	45	12%
奨学金や賞を設ける	31	8%
特に必要無い	39	10%
その他	23	6%

女性が生き生きと仕事を続けられるために 医師会でして欲しい事業

選択肢	回答数	%
休業医師の登録 / 派遣制度	216	57%
融資の促進をする	31	8%
ベビーシッター / ヘルパー紹介	213	57%
復職時の研修制度をつくる	120	32%
弁護士の紹介事業	24	6%
精神科医やカウンセラーの紹介	22	6%
特に必要無い	33	9%
その他	14	4%

まとめ

- **女性医師の状況と問題点**

多くの女性医師は仕事にも出産育児などにも、現状に
適応し意欲的に活動していることがわかった。しかし
性役割・差別意識が社会にも本人にも根強いことが、
標榜科の選択、家事労働の不平等、育児負担など
に見られ、余暇や勉強時間の不足も招いている。

- **問題解決への提言**

医師全体の労働環境の改善

医師の妊娠・出産・育児・介護支援を強力に

- **具体策としては**

休業医師の登録・派遣制度、ヘルパー派遣事業
復職時の研修制度

- **これらの実現には、医師会、学会など各機関への女性の登用が不可欠である。**

謝辞

以下のみなさま(敬称略)に厚く御礼申し上げます

発表の機会を与えていただいた

日本医師会会長 植松治雄

千葉県女性医療研究委員会設立に御尽力いただいた

千葉県医師会会長 藤森宗徳

千葉県医師会理事 秋葉則子

前千葉県女性医療研究委員会委員

松信恵美子 野田宏子 澤 晶子

八田真理子 赤井留美江

日本医師会 千葉県医師会の担当スタッフ

ご静聴ありがとうございました